

こんな活動です

地域教育コーディネーターがつなぐ学校と地域の絆 —学校支援委員会の活動を通して—

栃木県那須町	●活動名	●関係する学校名
	黒田原小学校支援委員会	那須町立黒田原小学校

協働活動開始年度	平成 26 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	16 学級	のべ児童・生徒数	311 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 2人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
参考URL	平成29年4月1日設置						
参考URL	—						

●連絡先	那須町教育委員会事務局生涯学習課	☎ 0287-72-6923
------	------------------	----------------



●活動の概要・経緯

平成26年度より、ボランティアとして学校支援にあたる地域人材を発掘し、学校教育の充実を図るための組織「学校支援協議会」を組織し、地域と学校の連携体制を構築してきた。地域の窓口となる「地域教育コーディネーター」と学校の窓口となる「地域連携教員」の連携により、多くの学校支援ボランティアが、様々な学校支援活動にあたった。平成29年度より、「学校支援協議会」から「学校運営協議会」へと移行し、それまでに築いた支援体制を「学校支援委員会」として、運営協議会内に位置づけて活動している。また、児童たちの総合的な学習の時間での地域学習を通して、多様な地域課題を把握し、地域に向けた提言を発信したり、地域の事業者と共同開発を行ったりして、地域参画を果たしている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学校運営協議会内に「学校支援委員会」を位置づけ、2名の地域教育コーディネーターの連絡調整の下、充実した学校支援活動を行っている。
- ②総合的な学習の時間における地域学習を、福祉・環境・町づくりなどのテーマで展開し、その成果を地域に向けて発信している。
- ③地域事業者の支援により、食品を共同開発したり共同販売したりする機会を設け、地域に向けた発信の場としている。
- ④「子どもの居場所づくり」として、地域教育コーディネーターの人材ネットワークと、町立公民館職員の講座運営スキルを活用した放課後子供教室の在り方を検討している。（平成30年度に年間を通して毎月1回試験的に実施し、平成31年度から本格実施する予定）

【実施に当たっての工夫】

- ①地域教育コーディネーターがもつ人材ネットワークを、5つの分野（学習支援・運動支援・図書支援・環境整備支援・安心安全支援）に分けて活用している。
- ②地域学校協働活動の実施にあたっては、地域連携年間活動計画を作成し、各学年の月毎の活動が見えるようにしている。
- ③学校に「ボランティアルーム」を設け、学校支援ボランティアが自由に利用できる環境を作っている。
- ④学校支援活動の啓発の場として、地域教育コーディネーターがPTA運営委員会に赴き、活動について説明している。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ①地域教育コーディネーターと地域連携教員の連携により、平成29年度は延べ256人の学校支援ボランティアが活動した。
- ②学校支援に対する依頼文書や礼状の送付は地域教育コーディネーターが担当し、学校支援ボランティアとのつながりを強固にするとともに、教職員の負担軽減につなげている。
- ③学習発表会場で児童と共同開発した食品等を販売することで、支援者にとっても利益につながっている。
- ④地域に合った放課後子供教室の在り方を検討した結果、文化協会やサークルの会員が活動の場を広げて子供たちの指導にあたる体制づくりが進み、学びのサイクルの充実が期待されている。

●その他

・土曜授業において、町学校教育課と連携した「プログラミング・デイ」を開催した。様々な関係企業による体験コーナーを設け、児童の学びの充実のみならず、教職員・保護者の啓発の場となった。



催し「地域に向けた創生学習発表会」(地域開



く備煙の先生との指導までの交流会(畑の整備)